

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和3年2月12日(2021.2.12)

【公開番号】特開2020-184752(P2020-184752A)

【公開日】令和2年11月12日(2020.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2020-046

【出願番号】特願2020-73770(P2020-73770)

【国際特許分類】

H 04 W 76/14 (2018.01)

H 04 W 92/18 (2009.01)

H 04 W 4/40 (2018.01)

H 04 W 72/04 (2009.01)

【F I】

H 04 W 76/14

H 04 W 92/18

H 04 W 4/40

H 04 W 72/04

【手続補正書】

【提出日】令和2年12月24日(2020.12.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1のUE(ユーザ機器)が第2のUEとのユニキャストリンクのためのSLRB(Sidelink Radio Bearer)設定を要求するための方法であって、

前記第2のUEから第1のメッセージを受信することであって、前記第1のメッセージが、前記ユニキャストリンクのための第1のSLRB設定を含み、前記第1のSLRBは、前記第2のUEから前記第1のUEへの送信のために使用される第1のSLRBのRLC(Radio Link Control)モードを示す情報を含む、受信することと、

前記第1のメッセージが受信されたか、または前記第1のメッセージに関連する完了メッセージの前記第2のUEへの送信に成功したことが確認されたときに、前記ユニキャストリンクのための、前記第1のUEから前記第2のUEへの送信のために使用される第2のSLRBの第2のSLRB設定を要求する第2のメッセージをネットワークノードに送信することであって、前記第2のメッセージは、PC5 QoS(Quality of Service)フローのアイデンティティを含む、送信することと、

前記ネットワークノードから第3のメッセージを受信することであって、前記第3のメッセージは、前記第2のSLRB設定を含み、前記第2のSLRB設定は、前記PC5 QoSフローの前記アイデンティティおよび前記RLCモードを示す情報を含む、受信することと、を含む方法。

【請求項2】

第4のメッセージを前記第2のUEに送信することであって、前記第4のメッセージは、前記第2のSLRB設定を含む、送信することをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第1のメッセージは、前記ユニキャストリンクのためのPC5 QoS(Quality of Service)フローのアイデンティティを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 4】

前記第1のSLRB設定が前記第2のUEからパケットを受信するために適用され、前記第2のSLRB設定が前記第2のUEへパケットを送信するために適用される、請求項1に記載の方法。

【請求項 5】

前記第1のメッセージは、PC5 RRC (Radio Resource Control) メッセージである、請求項1に記載の方法。

【請求項 6】

前記第4のメッセージは、PC5 RRC (Radio Resource Control) メッセージである、請求項3に記載の方法。

【請求項 7】

前記第1のUEは、RRC_CONNECTEDである、請求項1に記載の方法。

【請求項 8】

前記ネットワークノードは、基地局である、請求項1に記載の方法。

【請求項 9】

第2のUE (ユーザ機器)とのユニキャストリンクのためのSLRB (Sidelink Radio Bearer) 設定を要求する第1のUEであって、

制御回路と、

前記制御回路に設けられたプロセッサと、

前記制御回路内に設けられ、前記プロセッサに動作可能に結合されたメモリと、を含み、

前記プロセッサは、前記メモリに記憶されたプログラムコードを実行して、

前記第2のUEから第1のメッセージを受信することであって、前記第1のメッセージが、前記ユニキャストリンクのための第1のSLRB設定を含み、前記第1のSLRBは、前記第2のUEから前記第1のUEへの送信のために使用される第1のSLRBのRLC (Radio Link Control) モードを示す情報を含む、受信することと、

前記第1のメッセージが受信されたか、または前記第1のメッセージに関連する完了メッセージの前記第2のUEへの送信に成功したことが確認されたときに、前記ユニキャストリンクのための、前記第1のUEから前記第2のUEへの送信のために使用される第2のSLRBの第2のSLRB設定を要求する第2のメッセージをネットワークノードに送信することであって、前記第2のメッセージは、PC5 QoS (Quality of Service) フローのアイデンティティを含む、送信することと、

前記ネットワークノードから第3のメッセージを受信することであって、前記第3のメッセージは、前記第2のSLRB設定を含み、前記第2のSLRB設定は、前記PC5 QoS フローの前記アイデンティティおよび前記RLCモードを示す情報を含む、受信することと、と行う、第1のUE。

【請求項 10】

前記プロセッサは、前記メモリに記憶されたプログラムコードを実行して、

第4のメッセージを前記第2のUEに送信することであって、前記第4のメッセージは、前記第2のSLRB設定を含む、送信することをさらに行う、請求項9に記載の第1のUE。

【請求項 11】

前記第1のメッセージは、前記ユニキャストリンクのためのPC5 QoS (Quality of Service) フローのアイデンティティを含む、請求項9に記載の第1のUE。

【請求項 12】

前記第1のSLRB設定が前記第2のUEからパケットを受信するために適用され、前記第2のSLRB設定が前記第2のUEへパケットを送信するために適用される、請求項9に記載の第1のUE。

【請求項 13】

前記第1のメッセージは、PC5 RRC (Radio Resource Control) メッセージで

ある、請求項9に記載の第1のUE。

【請求項14】

前記第4のメッセージは、PC5 RRC (Radio Resource Control) メッセージである、請求項10に記載の第1のUE。

【請求項15】

前記第1のUEは、RRC_CONNECTEDである、請求項9に記載の第1のUE。

【請求項16】

前記ネットワークノードは、基地局である、請求項9に記載の第1のUE。